



2025 年 11 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社システムソフト
代表者名 代表取締役社長 オンゴール・パヴァン
(東証スタンダード・コード 7527)
問合せ先 管理本部長 富田 保 徳
TEL 092-732-1515

株主提案に対する当社取締役会の意見に関するお知らせ

当社は、株主（以下「提案株主」といいます。）より、2025 年 12 月 19 日開催予定の当社第 44 回定時株主総会（以下、「本株主総会」といいます。）における議題について、株主提案（以下、「本株主提案」といいます。）を行う旨の書面を受領いたしました。本日開催の当社取締役会において、社外取締役を含む全会一致で、本株主提案について反対することを決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 提案株主

株主 1 名による提案

※ 個人株主であるため氏名の開示は控えさせていただきます。

2. 本株主提案の内容

(1) 議題

自己株式取得に関する件（自社株買いの実施）

(2) 議案の内容および提案の理由

別紙に記載のとおりです。

なお、提案株主から提出された本株主提案書面の該当箇所を原文のまま掲載しております。

3. 当社取締役会の意見

(1) 当社取締役会の意見

当社取締役会は、本株主提案に反対いたします。

(2) 反対の理由

当社は数年間にわたり事業環境の変化に対応する事業構造の変革を進めており、既存事業整理や分割売却を行う一方で、今後の事業展開に沿った事業買収を積極的に行っております。さらに、AIをはじめとした新技術にも取り組んでおり、またファンド運営会社の買収により、幅広い分野の企業との協業の可能性を広げてきております。今後も、これらの分野において、積極投資を行うことで事業の拡大と会社価値の向上を目指す必要性があり、そのためには事業資金の確保が必要と判断しております。本株主提案は、最大7.56億円の現預金の流出を伴うものであり、今後の成長投資を円滑に行うための妨げになると考えます。

また、事業整理に伴う損失等もあり配当原資が確保できておらず、今期も無配とさせていただいており、提案株主の「余裕的資金を有する」の前提は誤っているものと判断します。そもそも、まずは事業拡大・営業利益確保により復配を実施することが優先であり、配当原資がない状況の中での自己株買取は実施すべきではないと考えております。

なお、本提案株主が主張する一株当たりの価格および価値の向上についても、当社の保有する資金により市場で自己株式を取得することが、なぜ当社の株価と企業価値の向上に資するのか不明で、提案株主の主張は理解できるものではないと考えます。株価の上昇に確実性がなく、仮に上昇した場合も、一時的な株価上昇に伴う集中的な売却が発生し、株価が下落する懸念があります。

(別紙) 本株主提案の内容

【議案】 自己株式取得に関する件（自社株買いの実施）

(1) 議案の内容

会社は株主価値の向上および資本効率の改善を目的として次の条件により自己株式を取得するものとする。

- ・取得株式の種類：普通株式
- ・取得可能株式数：756 万株とする
- ・取得総額の上限：7.56 億円
- ・取得期間：株主総会の日から 6 か月間
- ・取得方法：市場買付その他取締役会が定める適切な方法による

(2) 提案理由

先日、ApamanNetwork 株式会社が 7,554,700 株の株式を市場で売却した。

しかし、同社は「意図した売却でないため買い戻しを順次検討する」との公表を行っているが、その期日及び方法について具体的な発表がなされていない。

当該事象により、従前からの株主に混乱が生じていると考えられる。よって、余剰的資金を有する貴社が流出分を市場ないしは公開買付により取得することは株主価値の向上及び企業の誠実な対応として相応であり、さらに一株当たりの価格及び価値の上昇は社長パヴァン・オンゴレ氏の掲げる時価総額 600 億円の達成にも資するものである。

以 上